

無痛分娩について

無痛分娩とは、多くの場合「硬膜外鎮痛」を用いて分娩時の痛みを軽減することを指します。硬膜外鎮痛は妊婦さんの背中から硬膜外腔という場所へ細いプラスチックの管（カテーテル）を入れて、その管から薬液を注入することで意識を保ったまま、赤ちゃんにほとんど影響を与えず下半身の痛みを有効にとることができます。当院では2021年後期より試験的に開始しました。

本来自然の陣痛がきたタイミングでカテーテルを入れ、硬膜外鎮痛を開始することが望ましいのですが、当院ではまだ歴史が浅く習熟したスタッフが限られることから24時間365日安全な体制を提供することが難しい状態です。そのため、無痛分娩を希望される場合には子宮収縮促進剤を使用した誘発分娩により計画的に行います。計画分娩というと予定がわかって都合がよい、と思われるかもしれませんが、特にお産を経験されたことのない初産婦さんですと思ったように分娩が進行しないことも多く何日もかかることがあります。当院では安全性を重視し、まずは経膣分娩を経験されたことのある**経産婦さんのみ**※に提供を開始することに致しました。ご希望の方は外来担当医にお申し出ください。ただし対応できる症例数に限りがありますので、お断りさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

今後、希望される妊婦さん全員に24時間安全な無痛分娩が提供できる体制を目指して日々精進してまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

※医学的理由により無痛分娩が必要と考えられる妊婦さんには初産であっても個別に対応いたします。

Q&A

・本当に痛みがなくなりますか？

ほとんどの場合で満足のいく鎮痛が得られます。ただし同じ量の薬を同じように使用しても人により効果には差があります。また、薬の使用を始めてから効果が出るまでに15～30分程度時間がかかります。薬を使用しても効果が乏しい場合、カテーテルの入れ替えが必要になることがあります。

・お産にどんな影響がありますか？

硬膜外鎮痛を使用しない場合と比べて、分娩時間が少し長くなることが知られています。お産の最後の段階で吸引分娩や鉗子分娩が必要になる確率も少し高くなる傾向にあります。また、特に薬の使用時間が長くなると熱がでる場合があります。

・どんなリスクがありますか？

硬膜外鎮痛の安全性は高いと考えられていますが、100%合併症のない医療行為はありません。特に危険な合併症を防ぐためには早期発見が大切ですので、足が動くか、耳鳴りがしないかなど何度か同じような質問をすることになりますが、ご協力をお願いいたします。また、頻度は高くありませんがカテーテルを入れるときに硬膜が破れた場合、頭痛が生じることがあります。

・費用はどのくらいですか？

通常分娩にかかる費用に加え8万円（麻酔開始後4時間未満で分娩になった場合は5万円）をいただきます。

・どのような体制ですか？

当院では麻酔科専門医の指導のもと、産婦人科医師が麻酔を担当します。当院の強みとして分娩室のフロアと手術室のフロアは緊急用エレベーターで直接つながっており、緊急の際にはすみやかに麻酔科医師の応援を得ることができます。